

医療安全情報レポート Vol.46

働くみんなの医療安全

医療従事者におけるSNS、そこに潜むリスク あなたのSNSの投稿は大丈夫ですか？

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は医療においても教育・知識の強化、医療従事者間のネットワークの構築に活用されています。

しかし、個人情報漏洩のリスクや誹謗中傷、炎上、フェイクニュースの拡散など、様々なリスクが社会問題になっています。

日本看護協会は「**個人に関する情報と倫理**」をHP上で提示し、倫理的課題の概要やソーシャルメディアに投稿する際の考える視点を掲載しています。

医療従事者においては、専門職の社会的責任と法的に守秘義務が課せられていることを認識し、不特定多数への情報発信は細心の配慮が必要となります。

○ **個人や組織に不利益になるような情報が含まれていないか
今一度確認してみましょう。** ○

投稿前にチェックしてみましょう

- ✓ 個人・組織が特定される危険はないか
（文書・写真・動画・音声）
- ✓ 個人・組織に不利益になる情報ではないか
- ✓ 拡散し消去できなくなる可能性を理解しているか
- ✓ 位置情報が特定される危険がないか
- ✓ 個人・組織への誹謗中傷、反感、批判や怒りへの共感を求める内容になっていないか
- ✓ 医療、看護に関する情報は科学的根拠に基づいているか（個人の見解である場合はそれを明確にする）
- ✓ 専門職としての信頼を損ねる内容ではないか
- ✓ 職業倫理に照らして適切であるか
- ✓ トラブルが起こった時に適切な対応がとれるか

